

## 会員建築作品紹介



### 「特別養護老人ホーム 愛成苑」

(神奈川県横浜市瀬谷区 鉄筋コンクリート造 3階建て5,262.09 m<sup>2</sup>)

横浜支部 平山 正義

横浜市郊外に建つ特別養護老人ホームです。建設地は「瀬谷市民の森」に隣接し、緑豊かな環境にあります。

どこからでも、建物の全ての面がよく見える状況です。

そこで、廻りの自然環境と同化しつつ、やわらかい景観を創るため、新たに緑化システムを開発し、外部デザインしました。従来の壁面緑化の様に「つる植物」を用いるのではなく、「常緑、落葉、蔓、草木、花木、果樹」等の多種多様な植物で、季節感を演出する「バーチカル（立体）緑化システム」としました。

この緑化システムは、外部からだけでなく、室内からも草木や花木を楽しめますが、自由に外出できない入居者にとって、バルコニーが格好の「緑の散歩道」になる等複数の機能を持った外皮デザインです。

また、夏季には葉が拡がり日射を抑制することで、温熱環境、住環境向上にも寄与しています。

この建物は用途上全周に避難用バルコニーが必要であることから、バルコニーの手摺支柱を兼ねたランダムなピッチで上下階を結ぶ

ように取付けられた「緑化柱」に、専用の土を容れた不織布製「ポット」を取付け植樹しています。

バルコニーは上階でセットバックしており、平面的な曲面ともあいまって、建物全体が有機的なフォルムを形成しています。

緑化柱は、採光や通風を考慮し適度な間隔で設置しましたが、見る位置や角度によっては、緑が折り重なり、様々な表情をみせています。

緑化システムは、東西南北全ての面に施しており、方位に適した29種の植物を植えています。

植物は日本在来種で、春夏秋冬それぞれに季節感を演出するものを選びました。

「つる植物」による壁面緑化は、成長により経年で仕上がるものですが、本緑化システムは専用のファームにおいて、実際にポットに植樹し、緑化柱に取付けた状態で数ヶ月間生育養生し、耐性を付けた後取付けていますので、施工後の姿は完成形となっています。